



昭和46年
長生橋にて

41年の歳月



平成24年
新長生橋にて



41年前に研修生の私達が施工した
定祐橋です
橋も家も何も変わっていませんでした
変わったのは今そこに立つ研修生た
ちでした





背景の稜線も変わっていませんでした
変わったのは今そこに立つ人達の生え
際の稜線でした





タバコはやめました
人生をやめたくなかつ
たからです
でも会社は辞めました





安見君はずーとや
んちゃでした
阿部君はずーと変
わりませんね





七尾城址の石碑もありました
当時のままでした
18才の青春時代がそこに
ありました





桜の木は41年の歳月に
耐えられませんでした
しかし今ここに立つ人達
はこれからも力強く耐え
ていくことでしょう
石山君の顔がそれを物
語っています

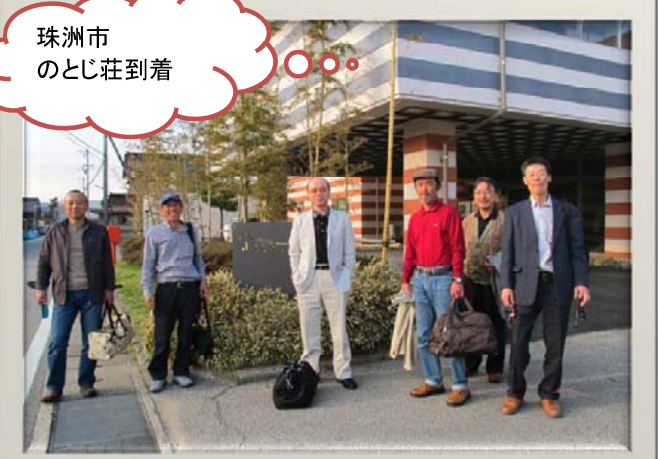




4/20
羽田第二ターミナル
昼食



阿部、石山君と
小松空港合流



珠洲市
のとじ荘到着



6年ぶりの再開
41年ぶりの珠洲市
同期と飲む酒はうまい



飲み足りず部屋で飲む
この頃に牧野君到着



阿部君の飲むと始まる仕
事話に石山君寝る





4/21 朝日の綺麗な日本海、不思議ですね。ここ、のど荘は富山湾を東に見てるからです。



41年ぶりに定祐橋と再会
何も変わっていない上祐橋に
「感動した！」





漏水もない
完璧だー

近くの若夫婦が
何事ですかー



こんな大きな家
なんですが成徳
さん知りません

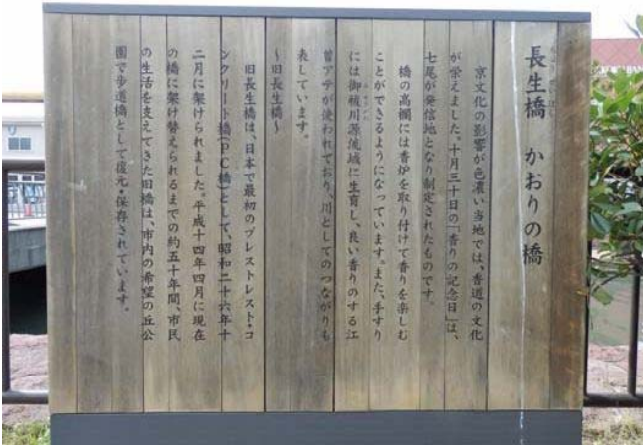


41年の歳月に
成徳家はなくな
っていました

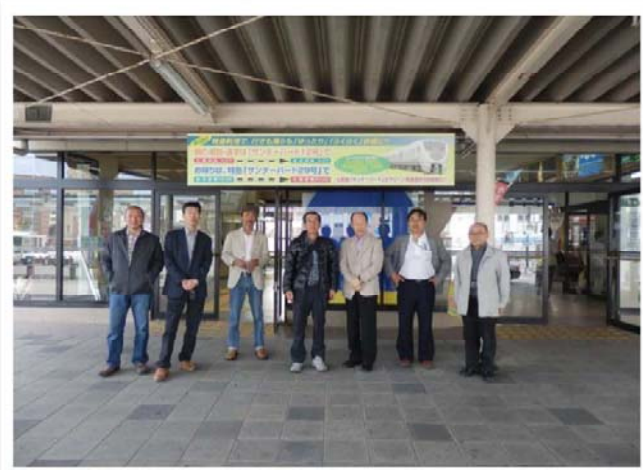


能登島經由で七尾市に入りました
食彩市場で昼食
でっかい器の海鮮





新長生橋
松の木、古い建物は
今もありました
41年前にわたしたち
はここにいたんです





七尾工場
事務所は変わって
いませんでした



老齢にむち打って登りました
ほんとうにあるのかなー
18才の思い出が



確かにありました
その石碑には41年前と
同じ七尾城址と刻まれ
ていました





41年前の長生橋は希望の丘公園に移設されていました



技術屋集団ですね
あーでもないこーでもない言っています





安見君 歌いすぎて
寝ちゃいました



4/22の別れ朝
安見君忘れ物で
春ちゃんに叱られる



バスターミナル
阿部、石山君と
別れました





能登空港へ
安見君疲れて
寝ちゃいました



羽田空港着きました
牧野君福岡までの切符
なくしました



解散
また逢う日まで
元気でー

以上「七尾41年目再開の旅」の紙芝居はおしまいおしまい
次に動画も見てね ワイルドだぜー
次回は3年後に東京スカイツリーに集合だそうです
幹事は白戸さんです 期待しています ヨロピコ

石田